臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき，研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば，他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で，研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて，患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので，下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも，患者さんに不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞

頭頸部癌の放射線治療と放射線骨壊死に関する観察研究

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部附属板橋病院　放射線科　(研究責任者)石橋　直也

＜研究期間＞

承認日　～　西暦　2021 年　12 月　31 日

＜研究の目的と意義＞

頭頸部癌は機能温存の点から放射線治療が選択されることが多いが一方で放射線治療後には様々な副作用が発生しうる。そのうちの 2 つに顎骨の骨壊死と頸動脈が狭くなる狭窄がある。顎骨壊死と頸動脈狭窄にはそれぞれ発生の危険因子が検討されているが顎骨壊死と頸動脈狭窄の関係性についての検討は過去にない。顎骨壊死は約 90%が下顎骨に発生すると報告されている。下顎骨の血流は外頸動脈の枝の上歯槽動脈であり顎骨壊死では上歯槽動脈の閉塞による虚血が見られる。そこで我々は血流評価として造影 CT における頸動脈の直径などを計測し顎骨壊死の発生との関連について検討する。顎骨壊死の発生とその他の臨床情報の関連についても併せて検討する。本研究の結果によっては頸動脈の直径によって顎骨壊死の予測が可能となるかもしれない。なお造影 CT は治療前や治療後に撮影された画像データを使用する。

＜利用する試料・情報の項目＞

過去に頭頸部癌に対して放射線治療を行った患者さんについて臨床情報や造影 CT の画像データ

＜対象となる患者さん＞

2011 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日の期間に当院で頭頸部癌に対して放射線治療を開始した方

＜研究の方法＞

過去に頭頸部癌に対して放射線治療を行った患者さんについて造影 CT における頸動脈の直径などを計測し放射線骨壊死の発生との関連について検討する。放射線骨壊死の発生とその他の臨床情報の関連についても併せて検討する。

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)
放射線科　　氏名：石橋　直也
電話：03-3972-8111　内線：(医局)2553　(PHS)8648